

シゲルくん通信

建物超寿命化支援企業の
株式会社シゲル・コーポレーションが
毎月発行する瓦版です

NEO

60th
Anniversary

★当社が協賛するBSNラジオ番組

『石塚かおりのBrand new day』(毎週火曜日7:15~8:54内)

『サロン de かおり』(毎週土曜日17:00~)内にて当社ラジオCMオンエア中!

★BSN TV朝の情報・報道番組『THE TIME』内にて

当社お天気フィラーTVCMを放映中!(毎週月曜日6時30分頃)

新社屋完成!



今月のトピックス

I. 本社新社屋 竣工式を執り行いました

II. シゲル文英会 役員会開催

シゲル・コーポレーション

代表取締役社長の増村文武です。

昨年より旧社屋隣地にて進めてまいりました新潟本社の新社屋が完成しました。

6月15日より新社屋での業務を開始、ZEBレディ対応の環境に配慮した建物です。社員一同気持ちもあらたに業務に精励し、60年培ってきました防水関連技術を通して、益々、地域社会、お客様に対して大きく貢献できる企業を目指してまいります。

鳥の囀りがいつも聞こえ、隣接の公園からは海も見渡せる環境の良い所です。

ぜひ皆様、遊びにいらしてください(^^)



新しい社屋で気持ちも新たに初の全体朝礼を実施

I. 本社新社屋 竣工式を執り行いました

6月12日、本社新社屋の竣工式が、新社屋2Fのオフィ斯拉ウンジにて厳かに執り行われました。

昨年8月に着工し、このたび無事に完成しました新社屋の門出を祝し、当日は当社役員・幹部および建物の設計・施工をお願いいたしました株式会社本間組様のご出席のもと、神事・祈禱が執り行われ、新社屋の安全と事業のさらなる発展を祈願いたしました。

新社屋は、より快適で機能的な環境のもと、社員一同が一丸となって業務に邁進できる場として整備をいたしました。出席社員全員で、この佳節を胸に、一層の飛躍を誓い合いました。

式の最後には当社社長の増村文武より、新社屋完成への感謝と、無事に工事を進めていただいた関係者各位へのお礼の言葉が述べられました。



II. シゲル文英会 役員会開催



去る5月29日、当社協力会・シゲル文英会の役員会を開催いたしました。当日はシゲル文英会役員18名が出席し、本年度事業詳細と6月26日に開催予定の安全大会の内容について検討・協議をいたしました。また安全大会時に毎年実施している職長表彰者と企業表彰者の最終選定およびシゲル文英会会員から募集した安全標語の優秀作品についての選定も行いました。

荻昌弘さんを愛してやまない 俺ちゃんのシネマコラム



連載第97回 今月のテーマ

『トラウマ級のサウンドを体験できる映画』

★毎月掲載している挿絵
はこちらからもどうぞ。

自称、シゲル・コーポレーション内で一番の映画好き、増村文武です。

先日、仕事の所用で鹿児島島の種子島まで行ってまいりました。当初、種子島の最南端に位置するJAXAの種子島宇宙センターの関連施設に当社も扱う外壁防水材が多数施工されているため、材料メーカー様のお取りはからいにより過去に施工した物件の状況を視察に訪れる予定でしたが、急遽H3ロケットの打上げ日と重なり、打上げそのものを体験できる~~~~ はずでしたが、またまた急遽打上げ日が延期となり、準備のために打ち上げ地点より半径3km以内は立ち入り禁止ということで、その範囲に抵触しない施設の視察に行ってまいりました~~~ 本物のH3ロケットの打上げは見れませんが、JAXAの宇宙科学技術館敷地内に設置されている以前のH2ロケットの実寸大レプリカを間近で見ることができました。想像以上の迫力、予想以上にどデカイ！ こんなものが恐ろしい推力のもとで大気圏外まで飛んでいくのか！ いや~、ロケットはロマンのかたまり、そして我々が訪れた2日後には、延期された打上げが見事に成功。日本の宇宙技術の、今後の急伸に期待が大きく膨らみます。



★今月はスナップ写真

『 当社新社屋移転のお祝いに、
お客様からたいへん素敵で可愛い
まねき猫の置物をいただきました 』

さて、当シネマコラム連載第97回目、今月のテーマはズバリ

『 トラウマ級のサウンドを体験できる映画 』 です。

映画を観るというより体験できると言っても過言ではない、まさにトラウマ級の圧倒迫力で我々の五感を狂わせる、音にこだわった選りすぐりの3本を御紹介。

📺 No.286 『シラート (2025年 スペイン・フランス合作映画) 』

この原稿を記した前日に、ナイト上映で劇場鑑賞してきたばかりということもあり、脳裏に焼き付く音と映像のイメージがあまりに強烈すぎて、あくまでフィクションの物語とはいえ、ちょっとばかり心にダメージを負ったのではと疑いたくなる自身がいるのは冗談ではありません。レイヴというジャンル音を通して、新しい映画体験をさせてくれた本作。"シラート"とは、イスラムの終末論において最後の審判の日人に人が渡る、天国と地獄をつなぐ、髪の毛より細く剣より鋭い道とのこと。この原題の意味は、まさに物語後半の予想もしなかった怒涛の展開で納得です。南モロッコの荒涼とした砂漠を舞台にして、突然行方不明になった娘を探す父親と、息子(10歳くらいの設定?)そして愛犬。娘が訪れたのではないかと考え尋ねたレイヴ会場で知り合ったレイバグループと共に旅をする中で、彼らを待ち受ける予測不能な悲劇。ロードムービーに『マッドマックス』と私的には『ダンサー・イン・ザ・ダーク』を掛け合わせたような展開。爆裂なレイヴ音に重ねられる山岳と砂漠の映像は、映画館での鑑賞がマストな1本。第78回カンヌ国際映画祭にて審査員賞など4冠。

📺 No.287 『アンダーウォーター (2020年 アメリカ映画) 』

水深1万m以上の深海に位置する調査基地近くで突如発生した巨大地震。基地は損傷し巨大な水圧による爆縮の危機にみまわれま。基地内の酸素も残り僅かになる中、特殊な潜水服を着て別の深海基地へ決死の脱出を試みる研究員たちの恐怖体験を描く深海系海洋パニックスリラー。この状態だけで充分絶望的なのに、研究員たちを待ち受けていたのは、この地震によって封印が解けた、人類がかつて遭遇したことのない未知の狂暴な海洋生物の強襲でした。深海というシチュエーションを利用して、本作もまた、音による怖がらせ方が巧妙。地上で聞こえる音の性質とは異なり、聞こえる音も聞こえない音も、あらゆる音が怖く感じます！怪物そのものの恐怖と相まって、時折折返ってくる様々な音が、観るものの心拍数を爆上がりへと導きます。いつ爆縮してもおかしくない、水圧で軋む施設の金属音、音の反響、静寂もまた怖し。音が聞こえないことへの焦燥感がまた、極限の閉塞感を増殖させて、遠く離れた未知なる宇宙空間にも引けを取らず、深海はじつに怖い~ 怖い怖いを、沢山書きすぎてしまいました、ヴァンサン・カッセルが渋く好演していて。

📺 No.288 『ウォーフェア 戦地最前線 (2025年 アメリカ・イギリス合作映画) 』

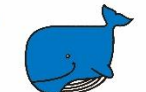
本コラム第20回目で御紹介済の難解SFスリラー『アナイレイション-全滅領域-』のアレックス・ガーランド監督がメガホンをとった現代戦場映画。実話をもとに当時の状況を忠実に再現した1本。ネイビーシールズとアメリカ海兵隊混合の特殊部隊「アルファ-1小隊」がイラク戦争の激戦地ラマディで見舞われる悪夢を、徹底したリアリティにこだわり描き切っています。敵勢力の真ただ中に位置する民家にたてこもり、敵の武装勢力からの防戦を続けながら命の危機にさらされた重傷者を一刻も早く搬出するため、応援隊を要請した中で決死の脱出作戦が敢行されます。本作もやはり特筆すべきは、音。特に銃撃戦のリアルな音は、戦場の中に放り出されたごとの緊迫感を演出し、上下左右あらゆる方向から銃弾が飛び交い、コンクリートの壁に打ち込まれる銃弾の破碎音もリアルそのもの。『プライベート・ライアン』や『ブラックホーク・ダウン』と同等以上の戦場感とドキュメンタリー風な淡々とした展開がまた逆に怖~ そしてエンディングではモデルとなった兵員さんの本物と役者が並ぶスナップ写真が連続で紹介され、胸がぐっとこみ上げてしまいます。

もし御興味が沸いてきましたら、皆様もぜひ一度御鑑賞を (^_-)☆

ULTRA ANTIAGING RENOVATION WORK

建物超寿命化支援企業

SHAGERU



CORPORATION

株式会社

シゲル・コーポレーション

本社

〒951-8003
新潟市中央区雲雀町32番地
TEL (025) 228-0351代
FAX (025) 229-5983

長岡営業所

〒940-2117
長岡市石動南町22番地8
TEL (0258) 47-2500代
FAX (0258) 47-2501

当社ホームページ

QRコード

